

目 次

. 総括研究報告

神経免疫疾患のエビデンスによる診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者 QOL
の検証に関する研究 3

金沢医科大学・神経内科

松井 真

. 分担研究報告

神経免疫疾患担当グループ別研究

1. 第 5 回多発性硬化症・視神経脊髄炎全国臨床疫学調査成績報告(第 1 報) 17

九州大学・神経内科

吉良 潤一、他

2. クロウ・深瀬症候群の診断基準と治療ガイドラインの策定 20

千葉大学・脳神経内科

桑原 聡、他

3. 重症筋無力症の全国疫学調査 二次調査による臨床像解析 22

金沢大学・保健管理センター

吉川 弘明、他

4. 自己免疫性脳炎の全国調査：2 次調査結果(第 2 報) 26

山口大学・神経内科

神田 隆、他

MS / NMO 関連

5. 視神経脊髄炎の再発に対するリツキシマブの有用性を検証する第 2 / 3 相多施設共同プラ
セボ対照無作為化試験 (RIN-1 試験) の結果報告 (令和元年度) 28

宇多野病院・臨床研究部

田原 将行、他

MS / NMO基礎

6. 日本人視神経脊髄炎関連疾患の全ゲノム関連解析結果報告：横断性脊髄炎リスク遺伝子の発見 30
九州大学・神経内科
吉良 潤一、他
7. 多発性硬化症と視神経脊髄炎のVBM解析からみたグリア変性病態の解析 32
新潟大学脳研究所・神経内科
河内 泉、他
8. 同心円硬化症の層状脱髄病巣の形成に寄与するミクログリアの特質 34
九州大学・神経内科
吉良 潤一、他
9. 血液脳関門に注目した多発性硬化症の新規バイオマーカーの探索 36
山口大学・神経内科
神田 隆、他
10. 日本脳炎ワクチンとADEMの関連性 38
九州大学・成長発達医学分野
酒井 康成、他

免疫介在性疾患群

11. 抗MOG抗体陽性疾患におけるT細胞反応性に関する研究 40
福島県立医科大学・多発性硬化症治療学
藤原 一男、他
12. 抗MOG抗体陽性神経疾患におけるステロイドパルス療法と血漿浄化療法の有効性：
Blood-cerebrospinal fluid barrier との関連性 42
埼玉医科大学総合医療センター・神経内科
野村 恭一、他
13. B細胞優位のリンパ球集簇を認めたMOG抗体陽性腫瘍様脱髄病変における脳病理学的
検討 44
東京女子医科大学・脳神経内科
清水 優子、他

14. 自己免疫性小脳性運動失調症に関連する抗神経抗体検索システムの構築に向けた研究・46
岐阜大学・脳神経内科学分野
木村 暁夫、他

M G

15. 胸腺摘除後 MG クリーゼの術前危険因子：メタアナリシス 48
長崎総合科学大学・医療工学コース
本村 政勝、他
16. エクリズマブ投与全身型重症筋無力症の病態生理特性に関する研究 51
国際医療福祉大学・脳神経内科
村井 弘之、他
17. 重症筋無力症患者における月経周期と症状増悪の関連性 53
埼玉医科大学総合医療センター・神経内科
野村 恭一、他

神経筋接合部疾患・筋炎

18. MG/LEMS overlap syndrome と borderline LEMS 反復神経刺激法における診断基準・56
帝京大学・神経内科
園生 雅弘、他
19. 筋炎における異所性リンパ濾胞様構造の意義に関する検討 58
東京工科大学・医療保健学部
清水 潤、他
20. 抗 SRP 抗体・抗 HMGC R 抗体陰性の免疫介在性壊死性ミオパチーの臨床病理像の
検討 60
東京工科大学・医療保健学部
清水 潤、他

免疫介在性ニューロパチー他

21. CIDP におけるマクロファージによる脱髄病変の意義 -ギラン・バレー症候群との対比
も含めて- 62
名古屋大学・医学系研究科
祖父江 元、他

22. 脳脊髄根末梢神経炎(EMRN)の immunochemical pathology の解明64

藤田医科大学病院・脳神経内科

武藤 多津郎、他

23. カルシウムチャンネル抗体は LEMS 以外の傍腫瘍性神経疾患の診断にも有用である ..67

長崎総合科学大学・医療工学コース

本村 政勝、他

G B S 等

24. 本邦のギラン・バレー症候群における人工呼吸器装着の予測因子の検討70

近畿大学・脳神経内科

楠 進、他

25. ガングリオシド抗原へのコレステロール付加による抗原抗体反応増強作用の解析：
Guillain-Barré 症候群とその関連疾患における検討72

防衛医科大学校・神経・抗加齢血管内科

海田 賢一、他

全国調査とレジストリー

26. ステッフパーソン症候群の全国調査第二報74

徳島大学病院・神経内科

和泉 唯信、他

27. 神経免疫疾患に対する IVIg に関連した血栓症リスクについての検討77

東京医科歯科大学・脳神経病態学

横田 隆徳、他

28. 免疫性神経疾患における妊娠・出産アウトカムの解析79

新潟大学脳研究所・神経内科

河内 泉、他

MS / NMO 臨床

29. 多発性硬化症と視神経脊髄炎の臨床的特徴 - 過去 28 年間における変遷81

新潟大学脳研究所・神経内科

河内 泉、他

30. 日本人 MS 患者における BICAMS を用いた認知機能評価とその後の身体障害の変化	83
北海道医療センター・臨床研究部	
新野 正明、他	
31. 免疫性神経脱髄性疾患の血液・髄液解析による急性期鑑別法の確立	85
順天堂大学・神経学	
横山 和正、他	
32. MS・NMOSD 患者の活動性指標としてのリンパ球亜分画の検討 (第 2 報)	87
金沢医科大学・脳神経内科	
松井 真、他	
MS / NMO 治療	
33. 多発性硬化症の再発予防治療を行わない患者像	89
近畿大学・脳神経内科	
楠 進、他	
34. 多発性硬化症疾患修飾薬への反応性と血清 Sema4A についての検討	91
富山大学・脳神経内科	
中辻 裕司、他	
35. フマル酸ジメチルの多発性硬化症患者に対する治療効果と末梢血 T・B リンパ球 サブセット	93
埼玉医科大学総合医療センター・神経内科	
野村 恭一、他	
36. 日本人多発性硬化症 270 人での Natalizumab 7 週毎投与(Q7WD) : 高い効果維持と PML リスク消失	95
関西多発性硬化症センター	
斎田 孝彦、他	
37. 「神経免疫分野の医療経済状況 2019」	98
国際医療福祉大学・医学教育統括センター	
荻野 美恵子、他	
.研究成果の刊行に関する一覧表	103